

## 嬉野医療センターを受診された患者さまへ

### 研究情報公開について

通常、臨床研究を実施する際には、文章もしくは口頭で説明・同意を行い実施します。臨床研究のうち、患者さまへの侵襲や介入もなく診療情報等の情報のみを用いた研究については、国が定めた指針に基づき「対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得る必要はありません」が、研究の目的を含めて、研究の実施についての情報を公開し、さらに拒否の機会を保障することが必要です。

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象に該当する可能性がある方で、診療情報等を研究目的に利用、または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。

|                    |   |
|--------------------|---|
| 研究課題名              | 高齢者胃癌・大腸癌術後短期・長期成績の予後因子としての Total Risk Point の有用性   |
| 研究責任者（所属名）         | 外科 橋本慎太郎  |
| 本研究の目的             | 高齢者の胃癌・大腸癌に対する手術は術後の合併症が若年者より多いとされており、注意が必要です。Total Risk Point (TRP) という年齢や術前治療中の疾患、術式などにより計算され点数化される指標があり、これまでに消化管縫合不全の発生率と関与することがわかっています。今回このTRPが高齢者胃癌・大腸癌の手術の術後合併症や生存期間と関連があるとの予測のもと、有用性を調査します。                              |
| 調査データの該当期間         | 2015年1月から2020年12月まで   |
| 研究の方法<br>(使用する試料等) | 2015年1月から2020年12月までに、当院で胃癌・大腸癌に対して切除を行った65歳以上の方を対象とします。カルテを参照しTRPの点数により合併症や生存期間に差があるかをみます。<br>研究期間は倫理委員会承認日から令和4年3月31日とし、検討項目としては、年齢、性別、術前BMI、Prognostic Nutritional Index (PNI)、術前併存症、手術時間、出血量、術後合併症、術後死亡、術後再発、術後生存期間などを予定します。 |
| 個人情報の取り扱い          | 利用する情報から、氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除した状態で取り扱われます。研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は一切利用しません。   |
| 本研究の資金源<br>(利益相反)  | 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。   |
| お問い合わせ先            | 電話：0954-43-1120（代表）<br>担当者：管理課長   |
| 備考                 |   |